

# 岩手大学

岩手大学広報誌  
IWATE UNIVERSITY

Vol.47 APRIL  
2021.4

## INDEX

- P1…岩大ラボへようこそ！ 地域に根差し世界に通用する岩手大学の研究 ～岩手の“大地”と“ひと”と共に～ 人文社会科学部／理工学部
- P2…研究紹介 ● ILCで宇宙の謎に迫る！ ～鍵を握るヒッグス粒子と暗黒物質～ 教育学部 理科教育科 物理学教室 准教授 馬渡 健太郎
- P3…キャンパスライフ ● サークル紹介 ● パン研究会／男子バドミントン部
- P4…センパイ紹介!! ほか ● センパイ紹介!! ● 青森県 高等学校教諭 (数学) 中村 圭汰さん
- TOPICS ● ネコのマタタビ反応の謎を解明! ほか ● Information ● 岩手大学の教育・研究コストの情報 (令和元年度) ほか

## 岩大ラボへようこそ! ～岩手の“大地”と“ひと”と共に～

# 地域に根差し世界に通用する岩手大学の研究



### 変わる言葉を観察する楽しみ

人文社会科学部 人間文化課程  
専門：日本語学  
准教授

小島 聡子

「日本語学」は、日本語を言語の一つとして言語学的に研究します。

日本語を研究しているという「話せるのに何ぞ?」と言われるかもしれませんが、話せても仕組みが分かっているわけではありません。発音や文法など言語そのものの構造はもちろん、時代や地域による違いなど、研究すべきことはたくさんあります。私は、特に歴史的な変遷に興味があります。変化が面白いと思うので、若者言葉なども研究しますが、言葉について「正しい」「美しい」などの価値判断を下すことはありません。最近では、宮沢賢治との関わりで近代(明治～戦前)の日本語を中心に研究しています。言語学では、特定の人や作品の言葉遣いを分析するとしても、その時期の言葉全体の実態に照らして考えますが、その際にコーパスを使ったりします。コーパスというのは、言語データに品詞などの情報を付けたデータベースです。日本語のコーパスとしては、国立国語研究所で整備を進めている大規模なコーパス\*1が各種ありますので、それを利用するほか、分析したい作品を自分でコーパス化したりもしています。コーパスを使うと、用例が探しやすいほか、大量のデータを統計的に分析したりして、個別に調べたのでは気づきにくい特徴を見出すことができる面白さがあります。

さて、宮沢賢治の童話集『注文の多い料理店』の「序」は次の文で始まります。

わたしたちは、氷砂糖をほしくくらぬもたないでも、きれいにすきとほつた風をたべ、桃いろのうつくしい朝の日光をのむことができます。

この部分、傍線部には少し違和感があります。

まず、「ほしくくらぬ」は所謂「気づかない方言」で、他地域の人にはわかりにくい表現です。現代語のコーパス(BCCWJ)で検索すると「寒い。長袖の上着ほしくらしいです。」のような例は拾えますが、用法が違います。ただ、岩手県内では今もこのような用法の「くらい」は「あるくらい持っていけ」などのように使われており、若い世代の学生たちも違和感はないようです。

一方、「もたないでも」の「ないでも」がおかしいと感じる人は多いかと思いますが、当時はそれほどおかしな形ではありませんでした。詳細は略しますが\*2、《動詞+打消+逆接仮定条件》の形式をコーパス(BCCWJ・CHJ)で調べると、図のような分布が得られます。

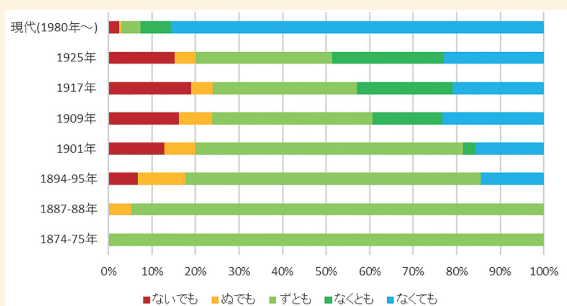


図 《動詞+打消+逆接仮定条件》の形式の変遷(CHJ・BCCWJ)

近代初期は書き言葉は文語中心で「～すとも(例：持たすとも)」なのが、現代では「～なくても(例：持たなくても)」に変わります。その途中では「なくとも」「ないでも」「ぬでも」など様々な形が使われていました。『注文の多い料理店』が出版された1924年は様々な形があった時期で、「ないでも」も結構使われていたことが分かります。

言葉はそれほど固定的なものではありません。日本語を研究していると言葉に敏感にはなりますが、言葉遣いを咎めるというのではなく、興味津々で観察している感じです。面白い種はたくさん見つかりますが、なかなか論文にまで出ていないのが悩みです。

\*1 本稿では、「現代日本語書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)」(データバージョン1.1)と「日本語歴史コーパス(CHJ) 明治・大正編」(データバージョン2017.09)を利用。BCCWJは概ね1980年代以降、CHJの明治・大正編は、1890年代から1925年までの資料のデータです。

\*2 小島聡子(2018)「『ほしくくらぬもたないでも』という表現について」『近代語研究第二十集』参照。グラフは一部改変した。



### ミトコンドリアカルパインの生理機能の解明と加齢に伴う神経変性疾患に対する治療薬の創出

理工学部 化学・生命理工学科  
専門：生化学、細胞生物学、動物生理学  
准教授

尾崎 拓

我々ヒトを含めた生物は1つ1つの細胞から構成されています。その細胞の中では、遺伝子やタンパク質といった分子が存在し、生命現象を精密に制御しています。尾崎拓研究室では、分子・細胞・個体を用いて、細胞の生存や死に関わる生命現象を世界に先駆けて解明する基礎研究を行っています。特に本研究室では、細胞小器官の1つであるミトコンドリア(図1)に存在する「カルパイン」というタンパク質分解酵素に着目して研究を進めています。基礎研究で得られた知見を基に、緑内障や認知症など加齢に伴う神経変性疾患に対する新規治療薬を探索するといった応用研究へと展開しています。

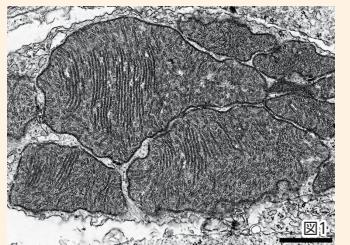


図1

### ミトコンドリアカルパインの生理機能の解明



哺乳動物では14種類のカルパイン分子が存在し、カルパイン-1など組織普遍的に存在するものと、カルパイン-3など組織特異的に存在するものがあります。カルパイン分子は細胞質にのみ存在すると考えられていましたが、本研究室では、ミトコンドリアにカルパイン-1、カルパイン-2、カルパイン-5が存在することを発見しました。また、ミトコンドリアのカルパイン-1は、細胞の死を誘導すること、カルパイン-2は細胞の生存に関わっていること、カルパイン-5は小胞体ストレスに応答すること(図2)を見出しました。さらに、カルパインの内在性阻害タンパク質であるカルバスタチンが、ミトコンドリアには存在しないことが解り、ミトコンドリアでは独自のカルパイン活性制御機構が存在することを発見しました。現在は、新たなミトコンドリアカルパインの発見とその機能の解明に向けて取り組んでいます。

### 加齢に伴う神経変性疾患に対する治療薬の創出

研究室では、ミトコンドリアカルパインを特異的に阻害するペプチドを創製して(図3)、種々の網膜疾患(網膜色素変性、緑内障、加齢黄斑変性症)モデル動物に対して、点眼投与による治療効果が認められました。このペプチドは、網膜疾患に対する治療薬として期待できるとともに、ミトコンドリアカルパイン-1に関わる脳疾患、心疾患、腎疾患などを対象とした治療薬の開発にも繋がると考えています。現在では、ミトコンドリアタンパク質を標的として、新たな低分子医薬を探索しています。

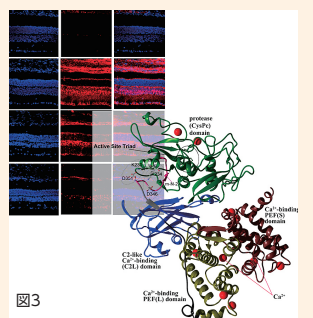
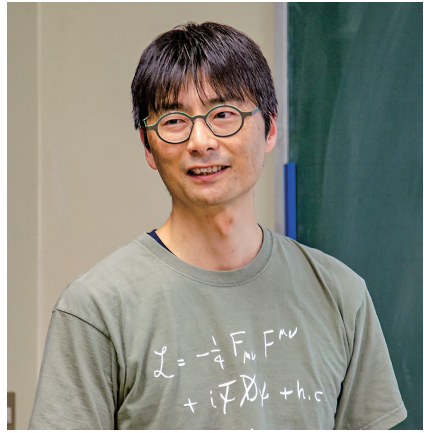


図3

### 最後に

我々の寿命は延び続け、人生100年時代に入ると言われています。平均寿命の延伸に伴い、健康寿命(健康上の問題に日常生活が制限されることなく自立して生活できる期間)を延ばす試みが強く求められています。本研究室で行っているミトコンドリア研究を生かして、健康寿命において最もウエートの高い視機能と認知機能を維持することを目標として、基礎研究と応用研究に日々励んでいます。

# ILCで宇宙の謎に迫る！鍵を握るヒッグス粒子と暗黒物質



教育学部 理科教育科 物理学教室  
専門：素粒子物理学（理論）  
准教授 馬渡 健太郎

## 電子と陽電子——素粒子とは——

電子は電流や静電気の担い手で身近な素粒子の一つです。陽電子は電子と全く同じ性質を持ちますが、電子とは反対のプラス電荷を持った素粒子です。

ここで「素粒子」といいますが、素粒子とは身の回りのものをとどろ細かく分割していき、それ以上分割できない粒々のことをいいます。「すべての物質は小さな粒（原子）からできている」と中学校で習います。

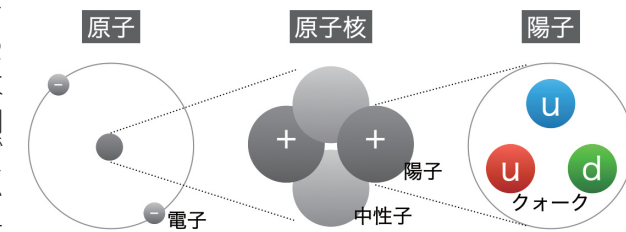


図1：原子の構造

20世紀初頭に、原子はさらに分割でき、その中心に原子核があり、その周りを電子が飛び交っていることがわかりました。現在では、原子核は陽子と中性子からなり、そのそれぞれはさらに素粒子であるクォーク（uクォークとdクォーク）3つからできているということが分かっていきます【図1】。

## ビッグバンを再現

近年の天体観測から「宇宙は膨張していて、約138億年前に誕生した」ということが分かってきました。これは時間を巻き戻していくと宇宙は一点から始まったということを示唆しています。宇宙は、現在の宇宙全体の物質・エネルギーが一点にぎゅっと集まった火の玉が爆発して始まったと考えられており、この爆発を「ビッグバン」とよびます。ILCは、このビッグバンを再現するために、電子と陽電子を直線トンネルの中で20kmも離れたところから加速させ衝突させるのです。

ILCは、端的に言うと「電子と陽電子を高エネルギーで衝突させるための加速器」で、世界約50カ国もの研究者が参加する国際プロジェクトです。全長約20kmにも及ぶ巨大施設で、岩手県の北上山地が建設候補地となっています。では何のために？「宇宙の謎を解明するために」。(ますます分からなくなってきたかもしれませんがね…もう少し辛抱して読んでください。)

## ILCとは



## 宇宙の謎を解く鍵

ここまでILCとは何なのか紹介してきました。後半は自身の研究を交えながら、宇宙の謎を解明する鍵となるヒッグス粒子と暗黒物質について紹介します。

## ヒッグス粒子

ILCと同じように、粒子を加速し衝突させる実験は世界各地で行われています。その一つがスイス・フランスにまたがるLHC (Large Hadron Collider)です。ILCが直線で電子陽電子を加速するのに対し、LHCは周長27kmの円形の加速器で陽子同士を衝突させます。そのLHCで、1964年にヒッグス氏（イギリス）が予言した粒子が、半世紀を経た2012年について発見されました。その粒子は彼の名にちなんで「ヒッグス粒子」とよばれています。

9年前にその存在が証明されたヒッグス粒子ですが、正体は未だによく分かっていません。ILCは「ヒッグスファクトリー」ともよばれ、ヒッグス粒子を大量生産する計画です。私は、その性質を精査し、宇宙初期におけるヒッグス粒子の役割を突き止めることを研究テーマの一つとしており【図2】、日々シミュレーションを繰り返して、世界各地の研究者と議論を重ねています\*1。

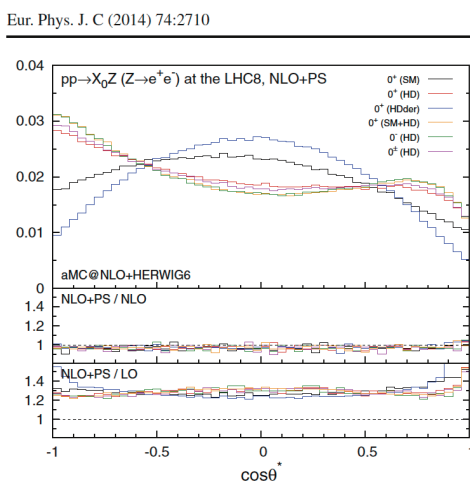


図2：国際学術誌の表紙に選ばれた Maltoni 氏、Zaro 氏とのヒッグス粒子に関する共著論文の図

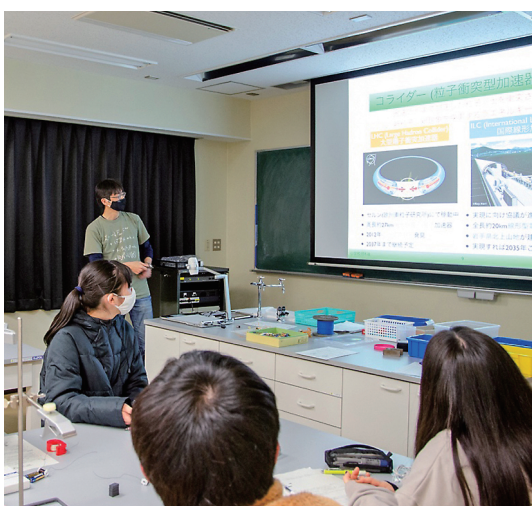
## 暗黒物質

先ほど「すべての物質は原子からできている」といいました。しかし近年の詳細な宇宙観測から、これを覆す証拠が積み上がってきました。原子からなる物質は宇宙全体のほん

の5%にすぎないというのです。残りの95%は正体不明で、そのうち27%は「暗黒物質（ダークマター）」、そして68%は「暗黒エネルギー」が占めています。

私は、暗黒物質の正体に迫るため、ILCにおけるシグナルを検証し、また様々な探索実験において暗黒物質の理論を系統的かつ効率的に比較検証できる枠組みの構築を試みています\*2。

私は大学院で素粒子の研究を始め、それから約20年、日本、韓国、ドイツ、ベルギー、フランスと転々としながら研究を続けてきました。ベルギーで研究をしていた時に、幸運にも、隣国でヒッグス粒子が発見され、そしてヒッグス氏と一緒にノーベル物理学賞を受賞したアンゲレール氏と同じ大学に所属していたことで、その歓喜の現場に立ち会うことができました。近い将来この岩手で当時の感動と興奮を再び味わえることを夢見て、日々研究と教育に励んでいます。



教育学部「小学校理科」授業風景（自然の階層性について）

## おわりに

この記事を目にした方々が、ILCや宇宙、素粒子に少しでも興味をもって頂けたら嬉しく思います。読んでもさっぱり分からないという方、もう少し詳しく知りたい方、出前講義に伺います。ぜひ広報へご連絡ください。

\*1 科研費基盤研究(C) (1803648)「有効場理論によるヒッグス相互作用の検証とその背後にある新物理探究」  
\*2 科研費新学術領域研究(研究領域提案型) 20195268「各種暗黒物質探索実験データと素粒子モデルを系統的に照合するための枠組み構築」

GANDAI UPDATES

岩手大学公式 Facebook に掲載した広報室学生スタッフの記事より、反響が大きかったものをご紹介します！

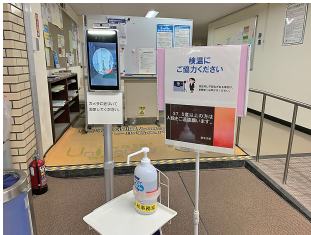
f 冬の岩手大学

こんにちは！人文社会科学部4年（執筆当時）の藤村です。なかなか思うように過ごすことができなかった2020年が終わり、あっという間に2021年になりましたね。岩手大学のキャンパスを見渡すと、卒業論文の執筆やテスト、レポートに追われている学生たちで溢れています。

テスト期間である2月上旬を過ぎると、学生たちは早いもので春休みに入ります。しかし、春休みといっても、今年の冬はまだ続きそうですね…。どうやら盛岡で積雪が50cmを超えたのは、10年ぶりのようです。そのため、岩手大学のキャンパスにもたくさんの雪が積もっています。写真は中央食堂前の様子です。学生が歩きやすいようにきちんと整備されていました。こんなに雪のあるキャンパスは初めて見たのでとても驚きました！

また、冬といえば雪だけでなく、厳しい寒さも耐え難いものですよね。体調も崩しやすくなる季節です。新型コロナウイルスはもちろんのこと、インフルエンザや胃腸炎などにも注意したいところです。岩手大学では、出入り口には検温機、各教室前には消毒液が設置されています！学生たちが安心して登校できるような対策がされていました。

暖かい春が待ち遠しいですが、体調に気をつけながら冬の岩手も存分に楽しみたいですね！以上、冬の岩手大学紹介でした！



サークル紹介

パン研究会



取材にご協力いただいた方  
代表 農学部 応用生物化学科  
4年 米沢 奏良さん  
(盛岡第四高等学校出身)

今回は、パン研究会の代表かつ創始者である米沢奏良さんにお話を伺いました。普段の活動の様子から、パン研究会の魅力など様々なことを聞いてきました。

この団体は、現在50人ほどの岩大生が所属している研究会です。2年前から活動をしており、パンを食べることもや作ることを通して、パンを研究しています。人数が多い団体ですが、1度の活動に集まる人数は10人ほどです。

僕自身が、パンを作ることやパン屋さんめぐりが好きでよく行っていたのですが、みんなで行ったらさらに楽しいかなと思ったのがきっかけです。

盛岡市内のパン屋さんめぐりをしながら各店のパンの食べ比べをしたり、パン教室を開きパンを作っています。パン教室では、公民館の調理室を借りてからパンを作っているんですよ。最近では、シライシパンの工場見学に行きパン作りに関する知識を増やすなど、活動の幅を広げています。

規則がなく、自由に活動しているところ。好きな時間に、自分のペースで活動に参加することができます。また、パン屋さんめぐりや工場見学を通して地域とのつながりを持つことができることも大きな魅力の一つだと考えています。



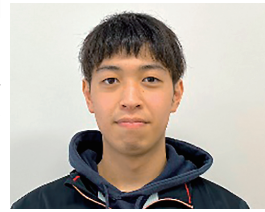
楽しく活動しつつも地域貢献活動も行っているパン研究会。オリジナルパンの販売も楽しんでいます。

私たちが聞きました！

●人文社会科学部4年 米沢 奏良 ●人文社会科学部2年 澤口 花咲

サークル紹介

男子バドミントン部



取材にご協力いただいた方  
部長 農学部 食料生産環境学科  
3年 伊丹 一翔さん  
(水沢高等学校出身)

2019年には世界大会で全5種目のメダルを獲得するほどの日本のバドミントン。今回はそんな今勢いのあるスポーツに取り組み男子バドミントン部にお話を伺いました！

部員は計29人。週6日で活動をしています。参加は強制ではなく、「大会で勝ちたい」という人もいれば、「上手になりたい」「運動がしたい」など各々の目的で参加しているため、自分の目標で頑張ることができる。

また、バドミントンをするだけでなく、お花見や遠足などのイベントもあるため、部員同士のつながりを築くことができる明るい部活です。

まず全体で体操をし、次にフットワークを鍛える練習、ノック、試合に近い動きを想定する「パターン練習」などさまざまな種類のトレーニングをしています。その後ゲームをし、各自が基礎で得た部分を生かせるような練習を行っています。

元々中学・高校とバドミントンを続けていたため、「バドミントンが楽しい」という気持ちがあったこと、「やるからにはしっかりと上手になりたい」と思っていました。



バドミントンへの、そして部員への思いが感じられるインタビューでした！「コロナ禍ということでのサークルもまだまだ苦しい状況が続いています。男子バドミントン部のように目標を持って頑張ってください！」

今後の目標は、2部昇格を目指して頑張りたいです。個人の目標としては、「コロナで大会が開催されるか難しいところもあるので、試合の場がなくても部員それぞれが目標を持って活動ができる部活づくりをしたい」と思っています！

ゲームの組み立て方など、「試合でどう勝つか」ということを学び、高校の時よりも「考えて動く」ことができるようになりました。また、上下のつながりができたことから、それぞれの価値観や考え方を知ることができました。先輩との交流や部長という立場による部活の進行などが、社会に出てからも役に立つ動き方を身につけることができました。

i-Connect 通信欄

学内カンパニー「i-Connect」のメンバーが、いま伝えたいことを発信します。

こんにちは！人文社会科学部4年（執筆当時）大友葵です！

新型コロナウイルスの猛威はまだまだ続いており、思うように活動が出来ず、もどかしい思いをされている方も多いかもしれません。我々i-Connectも模索しながらの日々が続いております。例年であれば、学内外で行われたイベントへ積極的に足を運び、取材を行うなどしていましたが、現在では直接多くの方と関わる広報活動は難しい…ということで、SNSでのニュースの配信や、動画作成に力を入れています！

また最近では、中学生の皆さんに、リモートで大学生活の紹介をし、質問に答える機会がありました！直接顔を見て話すことはできませんでしたが、中学生の皆さんが、興味津々にたくさん質問を寄せてくれたことを嬉しく思いました。岩手大学にしかない魅力は？という質問から、食堂の一押しメニューは？というほのぼのとする質問も！改めて私たちも岩手大学を見つめ直すよい機会になりました！

そのほかにも、学内カンパニー「岩手大学研磨工業」さんの依頼で、研磨工業さんが作成している製品の使い方を動画で制作しました。これまでインタビューや活動の様子をまとめた動画制作を行ったことはありましたが、手元をアップで映し、音声はBGMのみといったような、本格的に使い方を説明する動画を制作したのは初めてのことで、試行錯誤しながらも満足していただける動画が完成しました！現在では女子ラクロス部さんの部活動紹介PVを作るために、少しずつ撮影や編集を行っています！

人と直接コミュニケーションを取りづらい今だからこそ「人と人をつなぐ広報」を大切に、ネットなどを上手に活用した広報活動をこれからも頑張ります！また、共にこういった活動をしてくれるメンバーも大募集中です。ご連絡お待ちしております！

問い合わせメールアドレス  
iconnect.gandai@gmail.com

i-Connect Twitter アカウント▶▶▶▶▶▶



Introduction to a senior

# センパイ紹介!!

OB-INTERVIEW  
インタビュー

第45回



高等学校教諭

PROFILE  
なかむら けいた  
**中村 圭汰** さん

青森県むつ市生まれ、  
令和2年3月 理工学部  
物理・材料理工学科  
数理・物理コース 卒業  
青森県 高等学校教諭(数学)

Q1 在学当時の思い出をお聞かせください。

1、2年生の時はアルバイトに部活と大学生活を楽しんでいましたが、3年生の後半からの思い出が特に濃く残っています。この時期から、教師を志望する友達と2人で勉強を始めていました。勉強自体はやるべきことが多くきつかったのですが、一緒に勉強する仲間がいたからこそ、勉強しながらも楽しい日々が過ごせたと思います。私は、その人がいなければ教師になっていなかったと思うくらい、感謝しています。仲間は本当に大事だなと思いました。

Q2 現在のお仕事に就かれたきっかけはどのようなことですか？

小・中・高と学校に通う中で、学校の先生は楽しそうだなと思ったことがきっかけです。  
またアルバイトで塾講師をしていた時に、目の前の勉強や将来について悩んでいる生徒を見て、こんな生徒の悩みを一つでも多く解消し、楽しい人生を送るサポートをしたいなと思ったことも教師を目指すきっかけになりました。

Q3 仕事のやりがいや今後の目標をお聞かせください。

教師はやりがいしかありません。仕事も多く、生徒も自分の思うように動いてくれないですが、そこをどうするかを考えて行動することがやりがいだと思います。楽しいことも、きついことも、全部含めて刺激的な毎日を送っています。今後の目標は、生徒を無事卒業させることです。

Q4 後輩となる岩大生へメッセージをお願いします。

大学生活は社会に出る前の最後の猶予だから、大学生のうちに精一杯遊んでおいた方が良く、とよく言われます。私は半分その通りで、半分その通りではないと思っています。大学生を遊びだけで過ごした人は、本当に「社会の奴隷」になってしまいます。社会の奴隷になっても何も文句は言えません。自分が決めた道なのだから。逆に大学生のうちに志をもって勉強した人は、その後楽しい人生に近づくはず。自分の人生としっかり向き合っ、志を高く、人として成長する大学生活にしてください。上から目線ですみません...

# TOPICS トピックス

## ネコのマタタビ反応の謎を解明!

農学部宮崎教授らの研究グループは、名古屋大学、英国リバプール大学、京都大学との共同研究で、ネコのマタタビ反応が蚊の忌避活性を有する成分ネペタラクトールを体に擦りつけるための行動であることなどを解明し、アメリカ科学振興協会が出版する科学雑誌「Science Advances」に掲載されました。

この研究では、「マタタビから、ネコにマタタビ反応を誘起する強力な活性物質として「ネペタラクトール」を初めて同定したこと」、「マタタビ反応とは、マタタビのにおいを顔や頭、体を擦りつけるための行動であり、これによってネペタラクトールがネコの被毛に付着すること」、「ネペタラクトールは蚊を忌避する活性を示し、マタタビ反応は寄生虫や伝染病を媒介する蚊から身を守るために重要な行動であること」などを明らかにしました。



農学部 宮崎雅雄教授



総合科学研究科 上野山怜子さん(筆頭著者)

研究紹介



研究概要  
動画  
(英語)



## セシウムを効率的に取り込む植物タンパク質を世界で初めて同定

次世代アグリイノベーション研究センター／農学部ラーマン・アビドゥール准教授らの研究グループは、島根大学、東京大学大学院農学生命科学研究科との共同研究により、セシウムを効率的に取り込む植物タンパク質を世界で初めて発見し、植物を用いて放射性セシウムで汚染された土壌を浄化するファイトレメディエーション(植物修復)法の実現可能性を初めて示し、米国Cell Press社が発行する科学雑誌「Molecular Plant」に掲載されました。

この研究では、「カリウムの輸送に影響しないセシウム取り込み植物タンパク質、ABCG33・ABCG37を発見したこと」、「ABCG33とABCG37を高発現した酵母はセシウム取り込み量が増加することを立証したこと」、



農学部 ラーマン・アビドゥール准教授

「ABCG33とABCG37を過剰発現させた植物は、放射性セシウム汚染土壌のファイトレメディエーション法の実現に活用できると期待されること」などを明らかにしました。

研究紹介



# Information

## 岩手大学の教育・研究コストの情報(令和元年度)

### ■学生1人あたりの教育関係経費

約**69万円/年**

(教育関係経費(人件費含む)÷学生数)

教育関係経費(人件費含む)(令和元年度)	37億円
学生数(令和元年5月1日現在)	5,400人

### ■教員1人あたりの研究関係経費

約**738万円/年**

(研究関係経費(人件費、外部資金含む)÷教員数)

研究関係経費(人件費、外部資金含む)(令和元年度)	28億5千万円
教員数(附属学校除く常勤教員)(令和元年5月1日現在)	387人

岩手大学ホームページから  
FINANCIAL REPORTがご覧いただけます。



## 高校生・受験生向けサイトを公開中!

各学部の情報、入試情報、先輩の声など、高校生の皆様向けの情報をまとめた高校生・受験生向けサイトを公開しています。ぜひご覧ください。



## 岩手大学イーハトーヴ基金へのご協力について ～今般の新型コロナウイルス感染症に関連して～

岩手大学では、教育研究の充実をもとより、学生に対する修学支援の一層の推進を図るため、平成27年度に「岩手大学イーハトーヴ基金」を創設しました。本基金は、本学の教育研究や学生支援を幅広く展開することを目的とした「一般基金」と、東日本大震災により被害に遭った学生たちへの修学支援など、使途を特定した「特定基金」で構成され、これまで、企業・団体や個人の皆様など多くの方々からご支援をいただいております。

また、今般の新型コロナウイルス感染症の影響を受け、経済的に困窮する学生への支援を拡充するため、岩手大学イーハトーヴ基金の特定基金である「修学支援事業基金」へのご寄附にご協力をお願いしております。

最新の特定基金情報、寄附の申込・払込方法については、お手数ですが、イーハトーヴ基金ホームページをご覧ください。

岩手大学  
イーハトーヴ基金  
ホームページ



お問い合わせ先  
岩手大学 法人運営部 基金室(平日午前9時～午後5時)  
〒020-8550 盛岡市上田3-18-8  
TEL:019-621-6091 FAX:019-621-6014  
Email:kikin@iwate-u.ac.jp

## 岩手大学公式ソーシャルメディアのご案内

岩手大学公式 Facebook、YouTube を更新中! Facebookには、学内カンパニー「i-Connect」の学生が取材した記事も掲載しています。ぜひ覗いてみてください。



岩手大学公式  
Facebook



岩手大学公式  
YouTube  
チャンネル

## 研究紹介について

岩手大学で取り組んでいる各種研究については、大学ホームページや大学公式 YouTube で紹介しています。ぜひご覧ください。

研究紹介一覧  
(大学  
ホームページ)



研究紹介  
(YouTube  
チャンネル)



# Hi! 岩手大学

岩手大学広報誌  
IWATE UNIVERSITY Vol.47 APRIL 2021.4

## 編集後記

世の中も、岩手大学もコロナに翻弄された1年となり、本誌でご紹介しているような、「いつも通り」のキャンパスライフのありがたさを実感する1年にもなりました。

しかし、たとえ有事ではなくても、「いつも通り」というのは、それを支えるたくさんの人たちの協力で成り立っていることを忘れてはなりません。また、有事だからこそ、人を思いやる気持ちを保つことが大切ですね。

新しい春を迎えました。岩大生のみなさんには互いを思いやりながら、実り多いキャンパスライフを送ってほしいと思います。

## Hi!こちら岩手大学 vol.47

岩手大学広報室広報誌専門部会

2021年4月 発行

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

電話 019-621-6015 FAX 019-621-6014

E-mail:kkoho@iwate-u.ac.jp https://www.iwate-u.ac.jp/

本誌へのご意見・ご感想をおまちしております。